

喚繩のともと
沖のちと假寐
たぐれども通
へてよめるを

或鷹鳥書云天
の山よりおびる
とバ山おとと山
里をへりてぬ
る又犬とふ
りとるふふあ
る時う又と
ちりともさる
時又犬の時
とるのう
とびまとも
ふりやう

此風よりなりけり
あられききとちを
集は限もきき
詞やといへり
塙本やを二句
あきへなれと
とととつあ
喚繩の事
めき
應は縁と
と

捨くろり 舊とろり はぬみろりをこれにあらしめるなり

此歌初句と結句の読みまりくさるべし。聲とらうらぬを
聲とらうらぬとらうて得ぬのあゝぬみのみうらむなれは聲
ともとらうらぬと大とも放らぬれはありとけやうとゆさやうと
さややうひハ犬の餌と入る物とよさうとやうひハ助飼とも
書くその度と聲とふ犬よつとせ小弁當の類と云又山